

## 第5回 尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議

- 1 開催日時  
令和8年2月13日（金）  
開会 午前10時  
閉会 午前10時45分
- 2 開催場所  
尾張旭市役所南庁舎3階 講堂2
- 3 出席委員  
水津 功、鈴木 温、川口 暢子、加藤 健二郎、櫻井 由典、野村 治、  
松原 しず、奥村 紀代子、水戸部 茂樹  
9名
- 4 欠席委員  
0名
- 5 オブザーバー  
愛知県都市・交通局都市基盤部都市計画課長補佐 岩越 敦哉  
愛知県尾張建設事務所企画調整監 天谷 重治
- 6 欠席オブザーバー  
0名
- 7 傍聴者数  
0名
- 8 出席した事務局職員  
都市整備部長 伊藤 秀記、都市計画課長 永尾 幸市、  
都市計画課長補佐 小菅 匡範、都市計画課主査 菱田 和明
- 9 議題等
  - (1) はじめに
  - (2) 議題  
第三次尾張旭市都市計画マスタープラン最終案について
  - (3) その他
- 10 会議の要旨

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事務局<br>(都市整備部長) | 皆様、お待たせいたしました。定刻となりましたので、只今から「第5回尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議」を始めさせていただきます。私は、都市整備部長の伊藤と申します。本日は、大変お忙しい中、本会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から、本市行政に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。恐れ入りますが、以後は着座にて失礼いたします。<br><br>さて、令和6年度から御協力をいただいております本検討会議は、今回が最終回となります。本日は、次第にありますとおり、議題が1件「計画の最終案について」となっております。どうぞよろしくお願 |
|-----------------|--|

|                 |   |
|-----------------|---|
|                 | たします。   |
| 事務局<br>(都市計画課長) | <p>都市計画課長の永尾と申します。よろしくお願ひいたします。私から2点御連絡させていただきます。まず1点目は、「会議の公開について」でございます。本会議につきましては、公開の対象となっております。また、会議開催後には、本日の会議録などの資料も公開いたしますので、御理解と御協力のほど、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に2点目は、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、本日の「次第」が1部、次に「資料1」が1部、次に「参考資料1」が1部、次に、議題に関する「参考資料2、3」がそれぞれ1部、また、本日机上に配布させていただいております、参考資料4、5、6、7となります。</p> <p>以上、資料の不足はございませんでしょうか。事務局からの連絡事項は、以上でございます。</p>  |
| 事務局<br>(都市整備部長) | <p>続きまして、本日の出席者につきまして御報告いたします。</p> <p>本日は、会議構成員9名、全員の方に御出席をいただいております、尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議設置要綱第5条第2項に規定する過半数の出席を得ておりますので、本会議は有効に成立しておりますことを御報告いたします。</p> <p>次に、本日御出席いただきましたオブザーバーの二人を、お席の順に御紹介をさせていただきます。愛知県都市・交通局都市基盤部都市計画課長の代理としまして、都市計画課長補佐の岩越敦哉様に御出席いただいております。愛知県尾張建設事務所企画調整監天谷重治様でございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、事務局の職員につきましては、参考資料5にて、御確認いただきたいと存じます。</p> <p>それでは、会議を進めてまいります。会議の進行につきましては、尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議設置要綱の第4条第2項に、「会長は、会議を代表し、会務を総理する」とありますので、以後の会議の進行につきましては、本会議の会長である水津様をお願いしたいと思います。それでは会長、よろしくお願ひいたします。</p> |
| 会長<br>(水津委員)    | <p>皆さん、こんにちは。本日は御多忙のところ、御出席いただき、誠にありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたとおり、会議の進行につきましては、会長が行うということですので、以後の進行は私が行わせていただきます。</p> <p>それでは、次第に沿って、進めさせていただきます。次第1「はじめに」について、事務局よりお願ひします。</p>   |
| 事務局<br>(担当)     | 【参考資料1の説明】  |
| 会長<br>(水津委員)    | <p>ありがとうございました。それでは、引き続き次第2「議題」に入ります。事務局から説明をお願いします。</p>  |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 事務局<br>(担当)       | 【資料1、参考資料2～3の説明】   |
| 事務局<br>(都市計画課長補佐) | 少し補足をさせていただきます。今回、パブリックコメントを踏まえて修正を行った箇所は、5～6箇所程度です。意見としては、全体で38件の意見がありましたが、そのほとんどは、既に計画書の中に記載されているものでした。そのため、意見に対する市の考え方の欄は、「〇〇ページに記載しております」と回答しています。   |
| 会長<br>(水津委員)      | ただいま事務局から説明がありました。前回会議の終了後、事務局で修正した点やパブリックコメントでの御意見を受けて改めて検討を行った部分について修正を加え、計画の案として整えたとのことでした。御質問や御意見があれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。  |
| 岩越<br>オブザーバー      | 122ページの指標について、市街化区域の人口密度を指標としていますが、立地適正化計画でも人口密度を指標にしていますか。また、整合は取れていますか。  |
| 事務局<br>(都市計画課長)   | 立地適正化計画においては居住誘導区域の人口密度を指標としています。都市計画マスタープランでは、市街化区域の人口密度としており、若干面積に差があり、居住誘導区域の方が、人口密度が高く算出されますが、考え方は同様となりますので、整合は取れています。   |
| 天谷<br>オブザーバー      | 同じく、122ページの指標の目標Ⅳの魅力的な拠点形成、三郷駅周辺について、現時点の2%から10年以内に100%整備というのが強気かなと思っています。これは予定どおりの工程でしょうか。  |
| 事務局<br>(都市計画課長)   | 事業は既に組合が設立されており、スタートしております。工程表上は、10年ほどで確実に完了できる見通しでございます。  |
| 天谷<br>オブザーバー      | 安心しました。社会情勢でどうなるか分からないですし、是非とも工程をよくチェックしていただいて、事業が進むよう要望したいと思います。  |
| 会長<br>(水津委員)      | 他に御意見等は、ありませんか。他に御意見等がないようであれば、鈴木委員と川口委員から、本日についても、全体を振り返ってでも良いので、ひとこといただきたいと思います。   |
| 鈴木委員              | これまで2年ほど尾張旭市の都市計画マスタープランについて議論してきましたが、私は尾張旭市に住んでいるわけではありません。当初の印象は、名古屋市の郊外にあるベッドタウン的な要素が強いのかなと思っていました。しかし、会議や意見交換会を通じて勉強させていただく中で、尾張旭市の持つ魅力をたくさん見つけることができました。特に象徴的だったのが、計画書40～41ページにある「幸せつむぐ笑顔あふれる 公園都市」という理念です。全国でも「公園都市」をこれほど前面に出しているところはあまりありません。この言葉を出すに当たって、具体的にどう実現していくのか非常に悩み、パスも紆余曲折を経て非常に良い形にまとまったと思います。公園をベースとしながら、人と住む場所が一体となってイベントや商業などの活動を行 |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>う、生き生きと暮らすことができる公園という姿がうまく表現されています。三郷駅周辺の再開発も含め、これからこの理念を実践していく一歩として、非常に良い計画ができたと感じています。</p>  |
| 川口委員            | <p>他市町村の計画にも携わる機会が多いのですが、尾張旭市の取組姿勢、そして完成した計画書はとても見やすく整理されており、市民に届けようという気持ちが強く感じられます。デザインに詳しい先生が関わられていることも素晴らしかったですと思います。</p> <p>今後は、これが実際に市民に届くことが重要です。例えば地域別の取組を、小学校や中学校の学習の中で、自分たちの住んでいる場所でこれから何が起こるのか、何が課題なのかを議論する材料にすることも可能だと思います。</p> <p>最近の事例では、岡崎市などで都市計画マスタープランの「キッズ版」のようなものが作られ、地域別構想を1枚のシートにして、子ども目線でディスカッションする展開もあります。ぜひそういった活用も御検討いただけたらと思います。</p>                         |
| 会長<br>(水津委員)    | <p>他に御意見や御質問等はありませんか。</p> <p>それでは、他に御意見や御質問等もないようですので、次第3「その他」について、事務局からお願いします。</p>  |
| 事務局<br>(都市計画課長) | <p>本日は、お忙しい中、お時間をいただきありがとうございました。</p> <p>事務局から今後の予定についてお伝えします。</p> <p>冒頭でも説明がありましたが、3月3日に予定しております都市計画審議会に諮る予定でございます。</p> <p>この都市計画審議会を経て、3月末に公表を予定しております。</p> <p>その他事項につきましては、以上でございますが、最後に事務局を代表して、都市整備部長より、御挨拶をさせていただきます。</p>  |
| 事務局<br>(都市整備部長) | <p>事務局を代表しまして、ひとこと御挨拶申し上げます。委員の皆様におかれましては、本計画の策定に当たりまして、約2年間、計5回にわたり多大なる御協力をいただき、誠にありがとうございました。今、先生方からも御意見いただきましたが、「公園都市」という部分は、歴代の先輩方が大切にしてきた本市の魅力です。最近、その部分が薄れつつある中で、職員一同、もう一度この魅力をしっかりと引き継いでいこうという思いを込めて策定しました。今後、その理念を実現することは大変難しい面もありますが、まずは我々職員がその思いを共有し、市民の皆様、そして将来を担う子どもたちにも魅力を感じてもらえるよう取り組んでまいります。皆様からいただいた御意見、御助言を糧に、この計画に基づいたまちづくりを進めてまいります。</p> <p>これまで、誠にありがとうございました。</p> |
| 会長<br>(水津委員)    | <p>それでは最後に、私からもひとこと御挨拶申し上げます。2年間、会長職を務めさせていただきました。都市計画マスタープランは総合計画に紐づき、10年間にわたる未来予測を計画に位置付けるもので</p>  |

すが、今は技術革新や国際情勢など未来予測が非常に難しい時代です。計画を策定したことが「過去」になり、そこに縛られて未来に対応できないということにならないよう、常にアップデートし、試行錯誤を繰り返していく姿勢が必要です。

明治維新が起こった頃、日本は3,300万人ぐらいしか人がいませんでした。そのぐらいの人口で国を運営していたわけです。そこから考えますと、現在は3倍以上の人口がいます。人口減少は悲観的に捉えられがちですが、少なければ少ないなりの運営の仕方があるはずです。維持することよりも、より良い状況をどう作り出すかが重要です。

私が最近、読んだ本には、いわゆる一極集中の都市化だけが正解ではないと記載されていました。サービスが集中する駅前だけでなく、緑あふれる美しい田園風景の中に新しいライフスタイルが実現することこそが、我々の希望する未来ではないかと思えます。この10年間で、次のマスタープランに向けた資源をしっかりと仕込んでいくことを期待しています。重大な節目に立ち合わせていただき、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第5回尾張旭市都市計画マスタープラン策定検討会議を閉会といたします。